



学校だより

たくま

白鷹町立荒砥小学校

令和2年 2月26日

“かかわり・支え”から生まれる“安心”

校長 菅原 透

令和初の冬は、少雪と新型コロナの話
題…。現在だけでなく、この後の先行き
不透明なところが何とも心もとない昨今。
卒業式に向けて佳境を迎える学校生活へ
大きな影響が出ないように望みつつ、
様々な状況を想定した備えをしておかな
ければならないと考えています。

さて、2月半ばの時点で、今年度皆出
席の子どもは170人。全校生の61%
が休まず元気に学校に来ています。大人
でも体調を崩すのですから、“皆出席”は
言葉を換えると“偉業”と言えましょう。
体の調子とともに、きっと心の調子もき
ちんと整えられているのだと思います。

先日、ある面談がありました。その子
は、ゲームに熱中したり、朝起きられな
かったりしてちょっと不安定。そして、
その子はお父さんが大好き。でも、お父
さんはなかなか忙しく、パワーをもっと
伝えていただきたいと願ってのものでし
た。お話してわかったこと。それは、お
父さんが“家族のために”一生懸命働い
ていらっしやったこと。朝早くから夜分
までの長時間勤務は、家族を養うために
がんばっているという“自負”がありま
した。当然、それだけ働けばお疲れにな
り、家に帰れば体を休めたいと思ってい
ることも十分理解できました。そこでお

願いしたこと。それは、ちょっとしたふ
れあいやほめ言葉。「いつの間にか風呂に
いっしょに入らなくなったなあ…。いい
ぞ! などとなかなか言えなかったなあ。」
日本男児よろしく、あまり多弁でなく、
直接的な表現も得意な方ではない。でも、
面談中に見せてくださった眼差しには、
強さと優しさと温かさをしっかり感じ取
ることができました。その後、その子の
行動が変わりました。がんばり始めたの
です。聞けば、お父さんとお風呂に入っ
たとのこと。つながった嬉しさがその子
の行動だけでなく、表情の柔らかさから
も伺い知ることができました。さすが!
でした。大人にとっては小さなことでも、
子どもにとって、親とのかかわり、家族
とのかかわりはすごく大きなもの。家庭
で得られる“安心”は最高のエネルギー。
“認め励まし”は、壁に向かって立ち向
かう、乗り越えようと努力する…。その
ように動き始める・動き続けるパワーに
なると確信しました。

子どもを支える大人の力はとても大き
い。本校には、子どもの
笑顔に向けて、様々なか
かわりを起こしてくださ
る方がたくさんおられま
す。さすが荒砥小学校!

